

かたの民報

2021年1月24日

NO. 1736

【発行】

日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1

☎892-0121

(内線 301)



さがい ふみ

星田 7-44-21

☎894-2835



藤田 まり

私部西

2-16-13-310

☎397-3027



北尾 まなぶ

倉治 7-8-7

☎893-3163

市が、放課後児童会（学童保育）を民間委託の方針

「あまりに拙速！」保護者・議会の批判で、2月パプコメは当面延期

市は、1月13日の議会全員協議会で、放課後児童会（学童保育）を民間委託する市の方針（素案）を報告しました。これまで何の検討経過の報告もない突然の提案に、各党派・議員から「あまりにも拙速」と批判が続出。2月予定のパブリックコメントは当面延期されましたが、市は素案を練り直して、再度提案する構えです。

あまりにも拙速！

市は、昨年12月23日の放課後児童会運営委員会（保護者・教職員などで構成）で突然、2022年度（令和4年度）から、放課後児童会を民間委託する方針を報告し、2月にパブリックコメントを行うとしました。市直営では指導員の人員確保が難しく、保護者ア

検証ないズサンな素案

黒田市長2期目の「市長戦略」では、民間活力の導入について、「放課後児童会等の検証」を掲げています。しかしこれまで「検証」した内容について一度も議会に報告はなく、審議会等も行われていません。そうしたなかで、突然に民間委託・パプコメを提案するとは、あまりにも市民・議会を無視した異常な進め方です。



パプコメは当面延期！ 再提案の姿勢は変わらず

1月13日の議会全員協議会では、公明党、市民クラブ、共産党、会派無所属の多くの議員から、「あまりにも突然の提案で保護者が不安に思うのも当然」「まず検証結果を示すべき」などの批判があいつぎました。その結果、2月のパプコメ実施は当面見送りとなっていますが、市・教育委員会は、素案をいくらか練り直し、再度民間委託を提案する姿勢は変えていません。

民間委託で利益優先に

2019年4月に民間委託した守口市では、民間企業での指導員の継続雇用が約束でしたが、1年後には「会

民間委託した守口市では、保護者からこんな声が出されています。

- ・児童会大好きだった子どもたちが、民営化後は楽しくないと言う。
- ・ケガをしても理由を教えてもらえなかった。
- ・保護者が学童内に入ることさえ制限されている。
- ・指導員がガラッと変わり、子どもたちが戸惑っている。

（裏面に続く）

社に反抗的だった」などとして、ベテラン指導員13人が突然雇い止めされ、裁判になっています。そもそも、児童福祉事業である放課後児童会を民間企業に委託することは、利益を出すために、質の確保や子どもにかかる経費が削られることにつながります。